

水鏡 あなたの神さまが目覚める49の言葉

小林美香著



世界は私たちの心の反映

小林美香著
中にある世界は自らの外側にはない...

古代日本の権力構造の成立

水谷千秋著



水谷千秋著
天皇家が専制を強めるの歴史を語る...

都会のオアシス



座間神社 (神奈川県座間市)

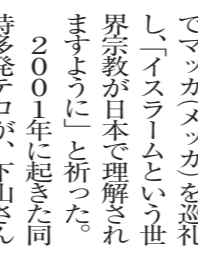
座間神社 (山本後照宮司)の御祭神は日本武尊。創祀は神代で、第30代欽明天皇の御代(539-571)に坐摩郷(座間の古名)に悪疫が流行した折、飯綱(いづな)権現の化身である白衣の老人が現れ、崖下の森に湧く清水を使うように勧め、村人がそうしたところ悪疫がやんだので飯綱権現を祀ったという。一方、明治12年編成の『皇国地誌』には、鎌倉時代の正和2年(1313)、悪疫が流行した時に白衣の老人が現れ、日本武尊を祀り御取まとて教えたので祀ったとある。飯綱権現は本来は伊勢の豊受大神と同じ食物の神様だが、江戸時代に防火の神として信仰されるようになり、長野県の飯綱権現が本社だった。座間神社と改められたのは明治9年(1876)に村社になった折、祭神は日本武尊に改められた。正和2年頃から武士の参詣が盛んになり、江戸時代の慶長7年(1602)には内藤清成が一統を率いて参拝し、武運長久、氏子の繁栄を祈ったという記録もある。また、古くから当地は八王子街道の宿場町として栄え、往來や生糸を運ぶ車両の安全を祈る人で社頭が賑わったと伝えられている。御神木は樹齢300年のシイの大木で、健康成就、病氣平癒、延命成就などの御利益のあるパワースポットとして有名。JR相模線 相武台下駅下車徒歩5分。

モスクへおいでよ

滝井宏臣著



滝井宏臣著
イスラーム文化を味わう...



大橋良介著
京都「哲学の道」を歩く...

女人成仏の深層探る

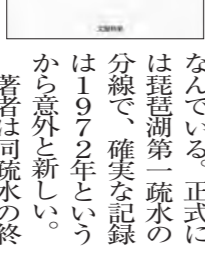
谷口義介著



明恵と龍になった女
紅雲で有名な高山寺は、「恋された女」...

明恵と龍になった女
龍になった女とは、唐の明恵と龍とが...

美と信仰の千年をたどる
京都府左京区の山の点、蹴上の上流にある山...



蘇る愛と生命
進化論を克服した鮮明の統一思想...

性解放理論を超えて

統一思想の神の言を否定する思想

性解放理論の思潮、フェミニズムなどを概観し解説。それらに対する統一思想による批判と克服を行うとともに、天来の愛と性のあり方を提示し、神の創造理想と真の家庭理想の実現のための思想的啓蒙を図る。



大谷明史 著 四六判/208頁 定価1,728(本体1,600円+税)

蘇る愛と生命

進化論を克服した鮮明の統一思想

進化論は今、自然科学のみならず文化、芸術などあらゆる分野に影響を及ぼしている。本書は、進化論を批判・克服する鮮明の思想を、師の言葉を通して紹介するとともに、「統一思想」に基づいた新創造論を提示する。進化論の間違いに気づかせ、神の創造理想という真の人生の指針を与えられる一冊。



日本統一思想研究院 編著 四六判/320頁 定価2,160(本体2,000円+税)